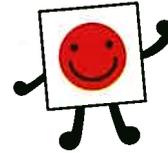


ぴったりしきつめ かずパズル100



かい せつ しょ
解説書

遊ぶべき年齢
3歳以上
3 4 5 6 ~

セット内容

数のピース...10種類 計46個

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 10個 | 6 4個 |
| 2 6個 | 7 4個 |
| 3 6個 | 8 2個 |
| 4 6個 | 9 2個 |
| 5 4個 | 10 2個 |



警告 (けいこく)
保護者のかたへ 必ずお読みください。
● 小部品があります。誤飲、窒息などの危険がありますので、3歳未満のお子さまには絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)
● 保護者のもとで遊ばせてください。
● 安全のため、破損、変形したおもちゃは使用しないでください。
● 火の近くでの使用、保管はしないでください。火事・火傷の原因になります。
● 紙製品で手や指を切る可能性もありますので、取り扱いにはご注意ください。
● 遊んだ後は、床などに放置せず、3歳未満のお子さまの手の届かないところに保管してください。

お問い合わせは

くもん出版
〒108-8617
東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル13F

Tel:0120-373-415
受付時間 月～金 9:30～17:30(土日除く)
ホームページ <http://www.kumonshuppan.com/>
e-mail info@kumonshuppan.com

「ぴったりしきつめ かずパズル100」とは…



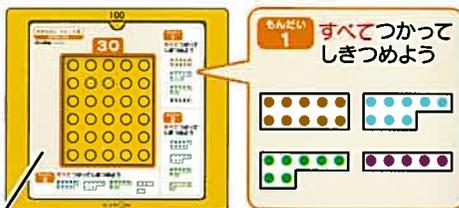
1~10の「数のピース」を組み合わせて、ボードの中にぴったりはめる(=しきつめる)パズルです。100個の凸があるボードにしきつめるパズルで遊ぶことで、1から100までの数量の感覚を養います。また、ピースは、「6と4」や「7と3」など、組み合わせると「10」の長方形になるので、算数の基礎である「10のかたまり」が感覚的にわかります。遊びながら、楽しく数に対する感覚をみがきましょう!

遊びかた

1 「数のわく」で初級パズル

難易度 ★

はじめは、「数のわく」を使います。問題に取り組む前に、自由にピースをはめこんで遊ぶのもよいでしょう。慣れてきたら、わくに書かれている問題にチャレンジ。10、15、20、30のパズルを順に進めます。(答えは11ページ)



数のわくをセットします

2 中級パズル

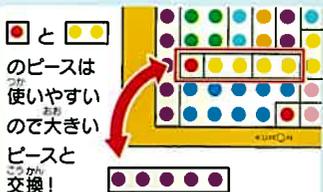
難易度 ★★

「数のわく」の問題が解けるようになったら、解説書3ページからの問題へ。(答えは11~12ページ)スペースの大きさやピースの数、種類が同じでも、入れかたが何通りかあることもあります。完成したら、別の入れかたも考えてみましょう。

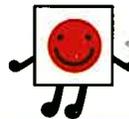
と解くときのコツ!



- 大きいピースからはめていく。
- 「10のかたまり」「15のかたまり」など長方形のかたまりを作ることを意識してはめていく。(ほかにも長方形ができる組み合わせを考えてみよう。)
- ピースが入らなくなってしまったら、まわりのピースを2~3個はずして、はめるピースをかえる。
- ピースが足りなくなったら、□、●などの小さいピースが並んでいるところを、大きいピースで置きかえる。



問題

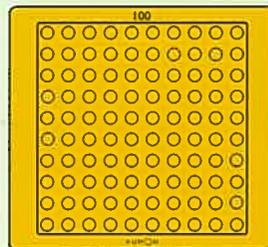


ここからの問題は「数のわく」の puzzles で十分遊んでからチャレンジしよう!

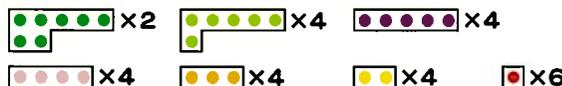
(答えは11~12ページ)

100のパズル

1 100のボードに、自由にしきつめよう。



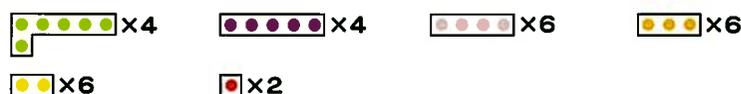
2 100のボードに、次のピースをすべて使って、しきつめよう。



3 100のボードに、次のピースをすべて使って、しきつめよう。



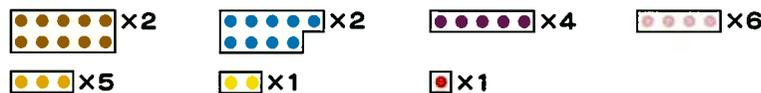
4 100のボードに、次のピースをすべて使って、しきつめよう。



5 100のボードに、次のピースをすべて使って、しきつめよう。



6 100のボードに、次のピースをすべて使って、しきつめよう。



7 100のボードに、●のピースを使わずにしきつめよう。



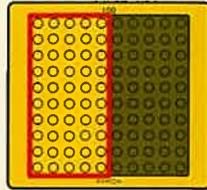
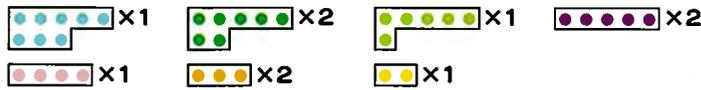
8 100のボードに、●と●●のピースを使わずにしきつめよう。



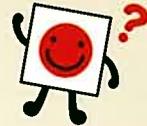
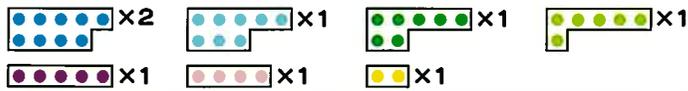
50のパズル

100のボードの半分をしきつめよう。
(ボードについている▼のマークが半分の目印だよ。)

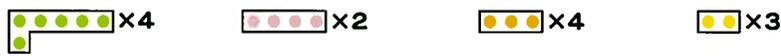
1 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



2 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



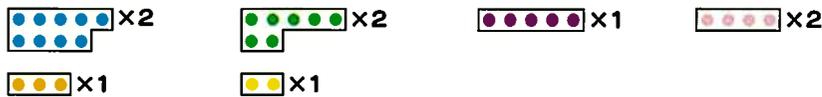
3 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



4 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



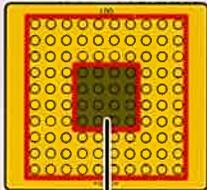
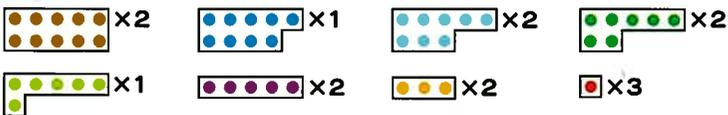
5 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



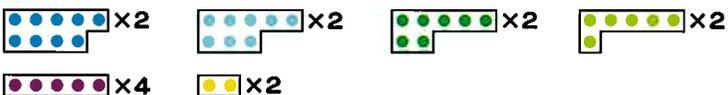
4x4穴あきのパズル

100のボードの中央に、4個分の穴ができるよう、まわりをしきつめよう。

1 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



2 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



先に1x2を4個使ってうめておくとうわかりやすいよ!

3 上級パズル

難易度 ★★★

問題

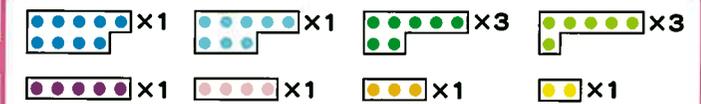
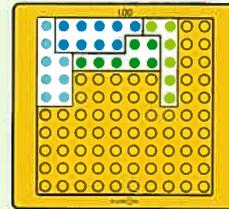


さらに難しい問題5問を紹介!
はじめは答えを見ながら並べてもいいよ。

(答えは12ページ)

100のパズル

1 図のようにピースを置いてから、□の中のピースをすべて使ってしきつめよう。

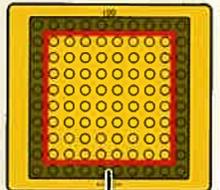
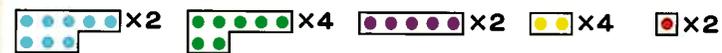


ヒント: できるだけ「10のかたまり」「15のかたまり」を作るとしきつめよう。

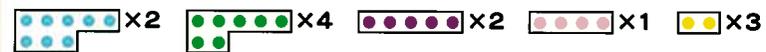
8x8のパズル

100のボードのまわりを1列分残して中央にしきつめよう。

1 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



2 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



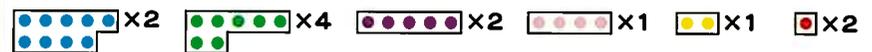
先に1x2を4個と1x3を4個を

3 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



使ってまわりをうめておくとうわかりやすいよ!

4 次のピースをすべて使って、しきつめよう。





かたち つく
形を作ろう!

ピースを組み合わせて、ものの形を作ってみよう。

〈例〉

1 ふね①

2 きのご

3 だちよう

4 いぬ

5 ロボット

6 しろ

7 はし

8 ふね②

9 ケーキ

めいろを作ろう!

スタートとゴールを決め、ピースを並べて、めいろを作ってみよう。

〈例〉

1 スタート ゴール

2 スタート ゴール

3 スタート ゴール

あそ
ゲームで遊ぼう!

たい せん がつ
① 対戦型しきつめゲーム

- 人数：2人
- 使うもの：5~10のピース、100のボード

- ①5~10のピースを同数、同種類に分けます。
- ②じゃんけんで勝った人が先にボードの好きなところに、好きなピースを1個置きます。
- ③もう一人も、ボードの好きなところに、好きなピースを1個置きます。
- ④これをくり返し、先にピースを置けなくなった人が負けです。

ワンモアステップ!

ピースを分ける時、均等に配るのではなく、交互に自分のほしいピースを取っていきます。どんなピースをたくさん持っているか勝てるかな?



② 10のかたまりゲーム

- 人数：2人以上
- 使うもの：すべてのピース、不透明の袋

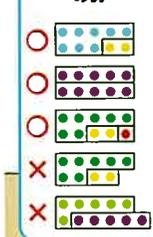
- ①すべてのピースを袋に入れます。
- ②じゃんけんで勝った人から、袋の中身を見ないようにして、中からピースを2個取り出します。
- ③ぴったり「10のかたまり」になるように、手持ちのピースを組み合わせます。「10のかたまり」ができれば1点とし、かたまりのまま置いておきます。一度かたまりにした組み合わせは、変えてはいけません。かたまりにならないピースは、次の自分の番以降に取ったピースと組み合わせることができます。(2個以上のピースを組み合わせてもかまいません。)
- ④ほかの人も同様にし、これを順番にくり返します。
- ⑤ピースがすべてなくなったら終了。点数が多い人が勝ちです。

勝つコツ!

ピースを取り出すとき、手さぐりで凸の数をかぞえ、「10のかたまり」になるピースを探してみましょう。



「10のかたまり」の例



「10のかたまり」できた!





かず あ 数当てクイズ10

- 人数：2人以上
- 使うもの：1～10のピース各1個

- 【ねらい】
- ・10までの数量感覚
 - ・10までの数かぞえの定着
 - ・量と数字の一致



出題者は、1～10のピースから1個取り出し、凸の面を上にして解答者に見せます。
解答者は、凸の数を言い当てます。凸の数をかぞえて、答え合わせをします。

かず あ 数当てクイズ20

- 人数：2人以上
- 使うもの：すべてのピース
(最初は、1～5などの小さい数のピースを使いましょう。)

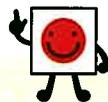
- 【ねらい】
- ・20までの数量感覚
 - ・20までの数かぞえの定着
 - ・たしざんのかえかたにふれる



出題者は、すべてのピースから2個取り出し、凸の面を上にして解答者に見せます。
解答者は、凸の数の合計を言い当てます。凸の数をかぞえて、答え合わせをします。

ワンモアステップ!

取り出した2個のピースを数字の面を上にして解答者に見せ、解答者は、数字を見て、凸の数の合計を答えます。
裏返して、凸の数をかぞえ、答え合わせをします。(難しい場合は、片方のピースだけ凸の面を上にしてみましょう。)



かず あ 数当てクイズ100

- 人数：2人以上
- 使うもの：すべてのピース、数のわく

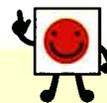
- 【ねらい】
- ・100までの数量感覚
 - ・100までの数かぞえの定着
 - ・大きな数のかぞえかた
(10ずつのまとまりにしてかぞえる)



出題者は、すべてのピースから、片手でつかめるだけのピースを取り出し、凸の面を上にして解答者に見せます。解答者は、凸の数をかぞえて、合計を言い当てます。答え合わせは、「10のかたまり」を作り、「10のかたまり」がいくつと、残りの凸がいくつでかぞえます。このとき、10、20、30の数のわくを活用してかぞえてもよいでしょう。

ワンモアステップ!

取り出すピースの量を片手ではなく両手でつかめるだけなどじょじょに多くし、より大きな数をかぞえることにチャレンジしてみましょう。



おな かず 同じ数のタワー

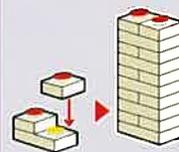
- 人数：1人以上
- 使うもの：すべてのピース

- 【ねらい】
- 「1と3で4」「2と2でも4」など、合わせる同じ数になる組み合わせが複数あることを知る

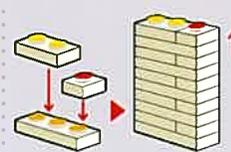
土台となるピースを1個選びます。その上に、一段の凸の数が土台のピースと同じ数になるように、ほかのピースを組み合わせて積んでいきます。くずれないように気をつけて、積めるピースがなくなるまで積んでみましょう。2人以上で遊ぶときは、一段ずつ交代で積んでいき、自分の番でくずってしまったら負けというゲームもできます。

※ただし、「3と3で6」など、ピースの形状上、作れない組み合わせもあります。

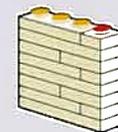
2のタワー



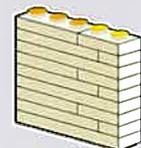
3のタワー



4のタワー



5のタワー



同じ数は何個入るかな？



- 人数：1人
- 使うもの：すべてのピース、数のわく 100のボード

【ねらい】
 ・100までの数量感覚
 ・かけざんのかたまりにふれる

問題

10のバズル



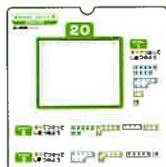
- 1 は、何個入るかな？
- 2 は、何個入るかな？
- 3 は、何個入るかな？

15のバズル



- 1 は、何個入るかな？
- 2 は、何個入るかな？

20のバズル



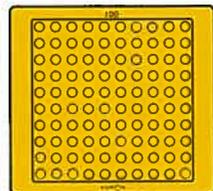
- 1 は、何個入るかな？
- 2 は、何個入るかな？
- 3 は、何個入るかな？

30のバズル



- 1 「10のかたまり」は何個入るかな？

100のボード



1 「10のかたまり」は何個入るかな？

ピースを組み合わせて、「10のかたまり」をたくさん作り、何個入るか試してみよう。

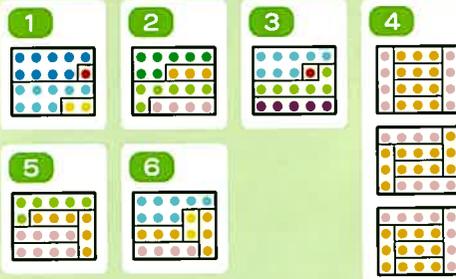
「10のかたまり」の例



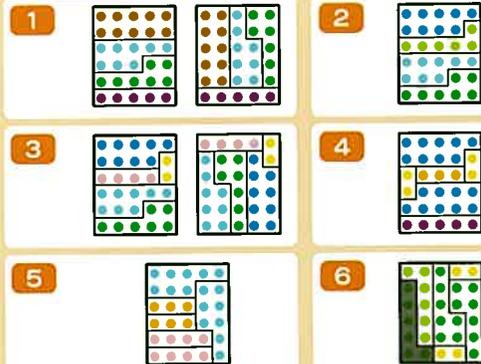
答えの例

ピースの入れかたは、ここにある以外に何通りかあるものもあります。不規則に並べるほど、びっくりしきつめるのが難しくなります。難しい答えも探してみましょう。

数のわく 20のバズルの答えの例

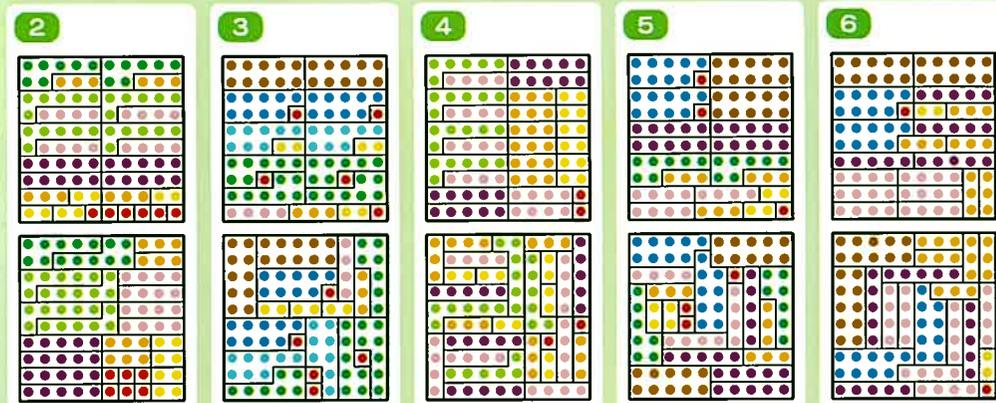


数のわく 30のバズルの答えの例



100のバズル (3ページ) の答えの例

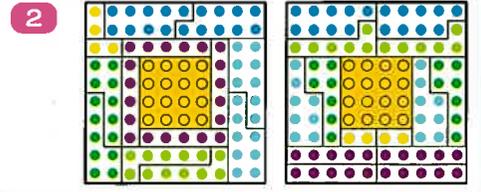
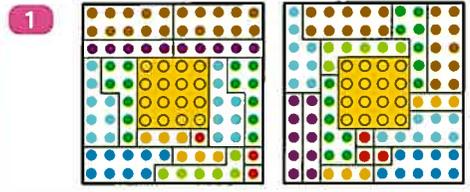
※ピースの指定のない 1 7 8 は省略しています。



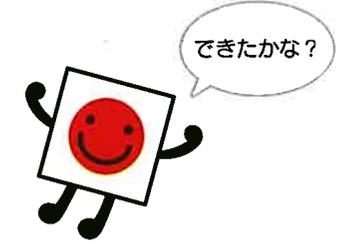
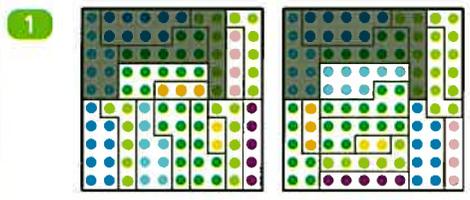
50のバズル (4ページ) の答えの例



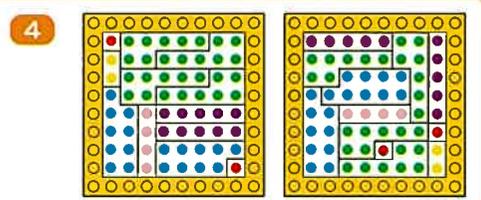
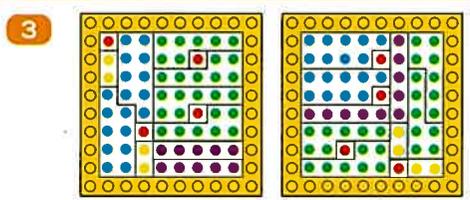
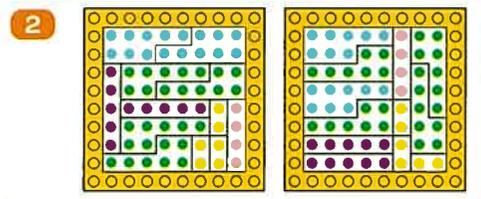
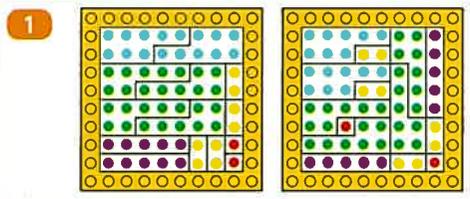
4×4穴あきパズル (4ページ) の答えの例



100のパズル (5ページ) の答えの例



8×8のパズル (5ページ) の答えの例



同じ数は何個入るかな? (10ページ) の答え

10のパズル	15のパズル	20のパズル	30のパズル	100のボード
1 10個	1 5個	1 5個	1 3個	1 10個
2 5個	2 3個	2 4個		
3 2個		3 2個		